

第2次新建先遣団行動報告 鎌田 / 柳澤 / 林 / 松木 / 安達 / 坂庭

4月7日(木) 行動報告

- 2 : 4 0 仙台入り、岩渕さんご提供のマンションで仮眠。
- ・ 前日 22 : 30 に象地域設計を出発した。
 - ・ 東北自動車道で仙台入り(途中国見SAで給油)。災害派遣等従事車両の申請を行ったため高速道路料金は免除。
 - ・ 岩渕さんのマンションは、水道、電気、ガスは全て復旧済み。
- 9 : 1 0 県労連訪問。
- ・ 物資(おむつ3箱、お尻拭き1箱)届ける。
 - ・ 鈴木事務局長よりお話を聞く。
- 9 : 4 0 宮城支部の阿部全国幹事、岩渕事務局長と合流。
- ・ 車内で、インフラのダメージのうち、特に下水道については今後深刻な問題になる可能性があるなど、被災の状況を聞く。
- 10 : 3 0 仙台市若林区荒浜地区(津波ですべてなぎ倒された田園地帯)を確認。
- ・ 田んぼは砂浜状となり、集落の建物はなぎ倒されている。
 - ・ 自衛隊の作業により、道路はある程度通行可能になっている。
 - ・ 沿岸の南蒲生下水処理場は大破している。
 - ・ 仙台市は倒壊家屋などの処分には23年かかると発表している。
- 12 : 1 5 仙台市太白区緑ヶ丘四丁目を確認。
- ・ 丘陵住宅地で連続的な地すべり被害が発生。
 - ・ 90世帯が避難している。
- 13 : 1 5 合同会議に出席。
- ・ 宮酪会館1階会議室で開催。**【別紙記録作成中】**
 - ・ 出席者は、新建宮城支部、新建先遣団、元福島大学の鈴木先生、宮城県建築センターの三部さん、第一次新建先遣団動向のボランティアの方、河北新報配達員の労働組合元委員長さん。
 - ・ 鈴木先生からは、「2011東日本大震災復興シナリオ(案)」の情報提供があった。ホームページでの合意形成のプラットフォームづくりの準備を進めており、3~4週間で立ち上がるとのこと。
 - ・ 三部さんからは、「名取市閑上・下増田地区の復興プラン作成について(案)」の情報提供があった。明日(4/8)名取市に提案を行うとのこと。
 - ・ 鎌田さんからは、「新建東日本大震災復興支援会議の設立(案)」の情報提供を行った。
 - ・ 岩渕さんから、宮城県の状況についての情報提供があった。
- 17 : 0 0 合同会議の会場付近で夕食。
- ・ ガスが復旧しておらず、プロパンガスで調理しているとのこと。
- 20 : 3 0 岩渕事務局長のマンションに帰る。
- ・ 岩渕事務局長と今後の取り組みについて懇談。**【別紙記録作成中】**
- 23 : 3 2 震度6の余震に遭遇。
- ・ 一同飛び起きたが、室内での物的被害はなかった。

4月8日(金) 行動メモ

- 8 : 5 0 今村全国事務局長へ昨晚の余震の状況を報告。
- 9 : 3 0 石巻市へ向けて出発。
- ・余震の影響による交通渋滞に遭遇したため、目的地を変更し、多賀城・仙台港を経て、仙台市長町へ向かった。
 - ・七北田川の沿岸で津波被害を確認。川の中に流された家を確認。
 - ・車中からは、昨晚の余震も含めた被害として、木造建物の屋根瓦や外壁材の剥落、RC建物のタイル剥落や雑壁クラック、鉄骨造の自動車ショールームのガラス全面破損などを確認した。
- 11 : 3 0 仙台市太白区长町の仮設住宅現場を確認。
- ・施工者は大和リース。完成予定は4月27日。
 - ・現場で確認した限りでは、建設戸数は225戸程度と見えた。
- 12 : 3 0 長町駅周辺を確認
- ・液状化により道路や歩道に大きな不陸が発生している。
 - ・RC造の公共施設で応急危険度判定の赤紙が貼られた建物あり。
 - ・昼食場所もガスは復旧していないとのことだった。
- 14 : 3 0 仙台市役所を訪問。
- ・応急危険度判定は一旦とりまとめていたが、昨晚の余震で改めて調査を開始したとのこと。
 - ・松木の関心所として、市内で5地区指定される重点密集地区の状況を質問したが、市としては「たまたま国の定めた基準で指定されてしまった」という受け止めで、事業の導入などはしておらず、被害状況も他地区と大きな違いはないとのこと。
- 15 : 3 0 名取駅周辺を確認。
- ・倒壊した木造建物を確認。
 - ・石巻市で被災された宮城支部会員の佐々木さんと連絡が取れ、翌日お見舞いの訪問を行うことを約束した。
- 16 : 0 0 名取市閑上地区を確認。
- ・なぎ倒された田園と市街地を確認。壊滅的な被害であった。
 - ・同じ地域の中の一部の新興住宅街区で被害の小さい場所もあった。
 - ・仙台空港への道路は通行止めとなっていた。
- 17 : 0 0 佐々木さんの避難所へ届ける必要物資を購入。
- ・下着類はがあると助かるとのこと。
 - ・お肉が調達しにくいとのこと。
- 19 : 0 0 宮城支部の新井さん、阿部全国幹事と一番町で夕食。【別紙記録作成中】
- ・支援の仕方などについて情報交換を行った。センター(三部さん)の名取市への提案について、必ずしも名取市は積極的な反応ではなかった。大学関係などが続々現地入りの予定あり。など。
 - ・お店は、まだガスが復旧していなかった。
 - ・新井さんが取り組みを支援する東一市場を見学し、いろは横町、文化横町も見学した。

4月9日(土) 行動メモ

- 9 : 4 5 三陸自動車道の河北IC付近の上品の郷で宮城支部の佐々木さんと合流。
- ・岩淵さんのマンションは8 : 0 0に出発。
 - ・佐々木さんより、地震時やその後の状況の話をお聞きした。地域の災害対策についても役割を担われているとのこと。
 - ・必要物資を提供した。
- 1 0 : 0 0 佐々木さんの避難所へ向けて出発。
- 1 0 : 3 0 河口から8 kmほどの場所で一旦下車。
- ・佐々木さんとお付き合いのあった建具屋さんの敷地を確認した。周辺と同様に自宅と工場が基礎以外流されていた。
 - ・支流との分岐部にある5 0軒程ある集落も全て流されてしまったとのこと。そこには、茅葺き屋根で有名な熊谷産業もあり、会社をはじめ1 0軒分程の茅も流されてしまった。
 - ・地震で1 m程の地盤沈下が発生し、川幅が広がっている。
- 1 1 : 0 0 石巻市北上総合支所(石巻市北上町十三浜吉浜)付近を確認。
- ・津波により木造とRC造の混構造建物が大破。地域の避難所にもなっていたが3 0名いる職員のうち1 8名の方が亡くなった。
 - ・隣の吉浜小学校でも8名の生徒が亡くなった。
 - ・十三浜という地名は、北上川の沿岸に1 3の部落があったことによる。全てが被害を受けたとのこと。
- 1 1 : 2 0 小室、大室地区を確認。
- ・島が自然の防波堤となり港は残った。地震があった時は船を沖へ出すというルールがあり、船もほとんどが残った(漁師さんは一日港に戻れなかった)。
 - ・遺体捜索が最優先となることから自衛隊には来てもらえず、「結」という地域のつながりによる共同作業でがれき撤去を行い車が通れるようにした。
- 1 1 : 3 0 相川漁港を確認。
- ・人口の防波堤は全て流されてしまった。
 - ・国道の橋も流されてしまい、交通が遮断されてしまった。佐々木さんは地震時仙台におり、翌日小指の自宅へ向かったが、ここから2時間半かけて徒歩で自宅へ向かったとのこと。
 - ・佐々木さんのお知り合いで、力強く家族を守ったご夫婦の話をお聞きした。船は地震後1 0分程で全て沖へ出たので被害を受けなかった。陸地では高台へ移動したが、波の引きが大きく遙か遠くまで底が見えたことから大津波を予測しさらに高いところへ移動した。津波は3 0分後に到達した。7年前に建てた港に最も近い建物は新耐震基準の効果からか建物も残った。総檣で2軒分の材料を使いこだわってつくったが、地面が1 m下がったこともあり、ここには怖くて住めない(もったいないが壊すしかない)。周りの人もここに住めない気持ちであり、集落ごと高い所に移ることを2 ~ 3年かけて実現しようと話している。
- 1 2 : 0 0 佐々木さんの自宅兼事務所へ到着(石巻市北上町十三浜小指)。
- ・小指地区では4名の方が亡くなった。使える建物は7棟だけ残った。

- ・建物は1階のRC部分は残ったが、2階の木造部分は流された。残ったRC部分は事務所の出張所として利用したい。片づけのボランティアを頼む。
- ・手書き図面は全て流された。PCも水没したが機器は残りダメもとでデータ復元会社へ復元を依頼している（他に依頼先があるかの情報は欲しい）。

12:30 避難所（石巻市子育て支援センター）に到着。

- ・避難所には50世帯が避難している。昭和8年の津波被害後に集団で高台に移転した集落（集団地）の上に立地している。
- ・建物は2月に新築された。併設している保育園は開園が先送りになっている。
- ・水は「結」による共同作業で沢水を引いた（水割りに使うと美味しい）。電気は75kVAの発電機を利用している。ガスは廃材による薪でカバーしている。
- ・高台付近で住まいを再建したい人もいるが、地域を離れる人もおり、「結」が崩壊しつつあるかもしれない。
- ・避難所の災害対策本部を訪問し、副本部長を始め皆さんと懇談。副本部長が「行政もここまでは手が回り切らないだろうが、仮設住宅の用地も復興住宅も自分達でやるぐらいの覚悟はある。そのためにも国のしっかりした支援が欲しい」という言葉が心に残った。【別紙記録作成中】
- ・何とお昼（牛丼）をご馳走になった。
- ・避難所までの道中を通して、平坦な海岸部、リアス式の入り江、丘陵住宅地、街中、様々な被災状況を見ることが出来た。また、被災した方、避難所での暮す人、行政関係の人、学者、ボランティア、多くの人たちと話が出来た。

13:40 避難所を出発し、東京へ。

- ・河北IC付近で給油した。

20:00 無事綾瀬駅へ到着。

- ・夕食と合わせて今後の取り組みを確認。
 - MLへの速報の発信（4/11）
 - 建まち3月号への投稿（4/15）
 - 全国幹事会への報告（4/17）
 - 報告会の開催（4/28）
- ・建まち3月号に報告を掲載する。以下の役割分担で行う。〆切は4/15。
 - 全体報告（松木、山下、林）
 - 参加者報告「政策の視点から」（鎌田）
 - 「住まい連等による緊急要請との絡みでの報告」（坂庭）
 - 「戸建て住宅の被害について」（柳澤）
 - 「マンションの被害について」（千代崎）
 - 「ソフト面の課題について」（山下）
 - 「書きたいテーマでOK」（安達）
- 報告会に向けては、宮城支部の方に全国への一言発信をお願いする。
- ・写真は一旦集約し、まとめたものを全員へ再発信する。4/11までに象にデータを集約し、整理（日付、撮影場所など）を行い、4/15に発送する。
- ・復興支援会議による先遣団の報告会を4/28に開催する。先遣団参加者は基本的に参加し報告する。



仙台市荒浜地区



仙台市緑が丘地区



事務所ビルの被害



自動車ショールームの被害



仙台市長町地区の応急仮設住宅



仙台市長町地区の液状化被害



名取市関上地区



石巻市北上町十三浜地区